

人生 100 年時代における老いじたくの推進 新規

予算額 234万1千円

副題：老後の人生設計をサポートします

ポイント

人生 100 年時代といわれる今日において、誰もが生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるよう、元気なうちから将来への不安を相談できる窓口を整備し、老いじたくを推進します。

事業概要

1 人生 100 年時代における老いじたくの推進

(1) 相談会の開催

将来への不安、老後の備えに関心のある区民のために、弁護士や社会福祉士などによる老いじたく相談会を定期的を開催します。

(2) 周知啓発パンフレットの作成

老いじたくに関心を持ってもらうためのパンフレットを作成し、高齢者に周知を図ります。



問合せ先	担当部課	福祉部	福祉管理課
	副参事	大淵	電話 5744-1737 (地域福祉推進担当)
	担当者	大川	電話 5744-1244

成年後見制度利用促進中核機関の設置

新規 重プ

予算額 121万4千円

副題：成年後見制度が必要な人を早期に発見し、
支援につなげる体制づくりを整備します

ポイント

成年後見制度は、認知症や知的障がい、精神障がいなどによって物事を判断する能力が十分でない人の権利を守るための重要な制度です。
必要な人が適切に制度を利用できるよう、関係機関との連携・調整などを担う「中核機関」を設置し、対象者の早期発見や支援に結びつける権利擁護支援体制を整備します。

事業概要			
<p>複雑な課題のあるケースや対応に悩むケースに対して多角的な視点で支援内容を検討し速やかな支援につなげる会議を定期的で開催します。</p> <p>本人を支援する福祉関係者だけでなく、成年後見分野の専門職である弁護士・司法書士・社会福祉士が加わることで、見落とされがちな本人の権利擁護の視点を踏まえた支援内容について検討します。</p> <p>事業実施にあたっては、成年後見制度推進機関である大田区社会福祉協議会と連携し、制度の適切な運用や利用促進に取り組みます。</p>			
問合せ先	担当部課	福祉部	福祉管理課
	副参事	大淵	電話 5744-1737 (地域福祉推進担当)
	担当者	大川	電話 5744-1244



おおたフレイル予防事業 **重**プ

予算額 621万6千円

副題：フレイルを予防して健康長寿のまちづくりを目指します

ポイント

高齢者のフレイル予防及び健康維持を図るため、普及啓発を推進します。
また、地域住民が主体となるフレイル予防の取り組みを担う人材の育成や取組事例を共有し、高齢者がいきいきと暮らせるまちを目指します。

事業概要

1 フレイル予防の普及啓発

高齢者の「虚弱」を意味するフレイルの状態になることを予防するため、「運動・栄養・社会参加」の普及啓発を推進します。『地域ではじめるフレイル予防スタートブック』などの啓発グッズを作成し、区内各地での配布とともに各種イベントにて配布します。

2 フレイル予防各種講座の開催

住民主体のフレイル予防の活動を推進するため、フレイル予防教室を開催するとともに、活動を担う人材を育成するリーダー養成講座を開催します。

3 地域の取り組みの拡充・推進

各地域のフレイル予防に関する取り組みを報告会で紹介します。地域に合わせた個性的な取り組みを継続していくことができるよう支援します。



問合せ先	担当部課	福祉部	高齢福祉課
	課長	長岡	電話 5744-1428 (元気高齢者担当)
	担当者	渡辺	電話 5744-1624

大田区若年性認知症支援相談窓口の新規開設 新規

予算額 2,032万8千円

副題：23区初の若年性認知症支援相談窓口を開設します

ポイント

65歳になる前に発症する若年性認知症者に対しては、医療・介護・就労・社会参加・障がい福祉など、さまざまな分野の支援が求められます。

ご本人や家族の状況に応じた支援を適切に実施するため、23区初の相談窓口「大田区若年性認知症支援相談窓口」を開設（令和2年10月予定）します。

事業概要

若年性認知症は、高齢者の認知症とは異なる問題が存在します。働き盛りの世代であることも多く、医療や介護に係る支援に加え、就労・社会参加、社会保障、障がい福祉サービスなど、多岐にわたる支援が必要です。

区では、これらを一人ひとりに寄り添い支援するため、若年性認知症支援コーディネーターを配置する「大田区若年性認知症支援相談窓口」を地域包括支援センターたまがわ内に開設します。2名のコーディネーターが本人や家族などからの相談を受け、関係機関と綿密に連携をしながら支援に取り組みます。



問合せ先	担当部課	福祉部	高齢福祉課
	課長	酒井	電話 5744-1255
	担当者	潮田	電話 5744-1250

(仮称) 特別養護老人ホーム大森東整備計画

新規

重プ

予算額 433万1千円

副題：新たに造成された区有地を活用し特別養護老人ホームを整備します

ポイント

在宅生活が困難になった高齢者の安定した生活を確保するため、新たに造成された区有地を社会福祉法人などへ貸し付けて、特別養護老人ホームの整備を支援します。

事業概要

1 概要

貴船堀に新たに造成された区有地を社会福祉法人などへ貸し付けて、特別養護老人ホームを整備します。

令和2年度は、公募により貸付先の選定などを実施します。



2 整備スケジュール (予定)

令和2年度	貸付先法人の公募・選定、土地の測量・登記
令和3年度	施設整備費補助金の審査
令和4～5年度	建設工事
令和6年度	開設

問合せ先	担当部課	福祉部 介護保険課
	課長	大津 電話 5744-1266 (介護サービス推進担当)
	担当者	荒川 電話 5744-1637

福祉人材の確保・育成・定着 **新規** **重プ**

予算額 195万7千円

副題：大田区の福祉を担う人材の質と量の充実を図ります。

ポイント

大田区版「地域共生社会の実現」に向けて、今後の長期的な社会情勢の変化やそれにとまなう福祉課題などに応じた、区民一人ひとりのニーズに合ったサービスを提供できるよう、人材の確保・育成・定着を図ります。さらに（仮称）福祉人材センター設置に向けて有識者との検討を開始し、早期設置をめざします。

事業概要

1 福祉人材センター設置に向けた有識者懇談会

区の実態調査の結果などを踏まえて、有識者と設置検討について話し合い、区ならではの取り組みとなる機能構築を進めます。

2 福祉人材の確保・育成・定着の実践

福祉人材センター設置の検討を進めながらも、試行的に次の施策を実施します。

(1) 介護の日本語学習プログラム作成支援

外国人材向けの介護の日本語学習プログラム作成を支援します。

(2) 採用力を高めるためのプログラム

事業者の採用力向上、採用計画の作成などを支援する研修などを実施します。

(3) 若手職員の人材育成・交流プログラム

大田区で働くことのモチベーションや魅力を高められるよう、高齢、障がいなどの分野を越えた区内事業所の若手職員向けの人材育成・交流会を実施します。



問合せ先	担当部課	福祉部	福祉管理課
	課長	有我	電話 5744-1241
	担当者	山本	電話 5744-1244

地域支え合いの推進

予算額 5,612万6千円

副題：高齢者の力を中心に多世代に渡る支え合いの地域づくりを推進します

ポイント

高齢者の力を中心に、多世代に渡る地域の支え合いの体制づくりを推進します。支え合いの体制づくりの中核的な存在である「地域ささえあい強化推進員」や「地域福祉コーディネーター」などの連携強化や研修の充実に取り組み、地域における高齢者を中心とした自主的な支え合いグループを支援します。

事業概要

1 地域ささえあい強化推進員の拡充

地域の支え合いづくりを進めていく中核人材「地域ささえあい強化推進員」を現在の6人から8人に増員して、高齢者の自助力の強化や、互助による支え合いの地域づくりを推進します。また、大田区社会福祉協議会に配置されている「地域福祉コーディネーター」などとの連携を強化します。

2 地域支え合いの体制を推進する人材の育成

地域支え合いの体制を推進する人材を育成するため、「地域ささえあい強化推進員・地域福祉コーディネーター」の育成及び技術的支援に特化した専門的な研修を実施し、事業のさらなる推進を図ります。



3 地域資源の見える化の推進

区内の高齢者の通いの場などの地域資源情報を見える化する情報収集端末「ミルモネット」の活用を促進し、自主的な支え合いグループの活動を支援します。

問合先	担当部課	福祉部	高齢福祉課
	課長	長岡	電話 5744-1428 (元気高齢者担当)
	担当者	武田	電話 5744-1407

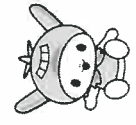
大田区 令和2年度予算(案)の概要

防災力の強化・新しい世代の礎となる予算

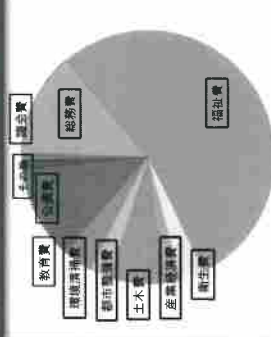
2,873億8,746万2千円
(前年度比1.9%増)

予算編成にあたって

令和2年度は、「おおた未来プラン10年」の成果を踏まえて「新基本計画」を策定する年にあたり、切れ目ない施策展開を図るため「おおた重点プログラム」を着実に推進するとともに、4つの重点課題を掲げ、「防災力の強化・新しい世代の礎となる予算」としました。



一般会計歳出予算



①安心して子どもを産み育てられ、未来を担う子どもたちの成長を応援する取り組み【子育て・教育の充実】 125億9,783万6千円

《出産・子育て応援》
 □産後ケアの充実(宿泊型) (816万1千円) 〇
 □特定不妊治療費補助事業の開始 (4,383万6千円) 〇
 □(仮称)大田区子ども家庭総合支援センターの整備 (1,197万2千円) 〇
 □子どもたちの長期休暇応援プロジェクトの充実 (200万円) 〇
 □離婚と養育費にかかわる総合相談の充実 (77万円) 〇



《特別児童扶養手当》
 □待機児童対策の推進 (56億8,425万9千円) 〇
 □認可保育所の整備、認証保育所の認可化移行、ベビシッター利用者への支援拡大など

《子ども育成、教育の充実》
 □小学校のICT教育環境整備の拡充 (2億1,576万9千円) 〇
 □外国語教育の拡充 (2億6,393万円) 〇
 □小中学校体育館等空調設備の整備 (3億4,481万9千円) 〇
 □校舎の改築 (55億1,199万4千円) 〇
 □教員の働き方改革 (2億6,782万円) 〇
 □不登校対策事業の推進 (2億3,157万4千円) 〇
 □「こども学習支援ボランティア」の養成と夏休み学習教室の開設 (外国籍の子どもを支援) (33万円) 〇
 □高等学校等進学予定者に対する給付型奨学金の創設 (1,060万2千円) 〇



②生涯を通して誰もが健やかに元気に暮らせるまちづくり【健康・福祉の充実、地域拠点の整備】 34億7,581万4千円

《健康づくり、医療連携》
 □はねびよん健康ポイントの充実 (5,584万3千円) 〇
 □「おおた健康経営事業」の認定 (177万8千円) 〇
 □「キラ☆健康おおた」の推進 (334万7千円) 〇
 □がん対策の強化及び新たな検診の導入 (1億7,763万1千円) 〇
 □医療相談窓口(コールセンター型)開設事業 (516万1千円) 〇
 □ひきこもり支援の充実 (796万9千円) 〇
 □人生100年を見据えた健康寿命延伸プロジェクト (1,600万9千円) 〇



《福祉の充実、高齢者支援》
 □大田区奨学金 人材確保型特別減免制度の創設 (117万7千円) 〇
 □人生100年時代における参画の推進 (234万1千円) 〇
 □成年後見制度利用促進中核機関の設置 (121万4千円) 〇
 □おおたフレイル予防事業 (621万6千円) 〇
 □大田区若年性認知症支援相談窓口の新規開設 (2,032万8千円) 〇
 □(仮称)特別養護老人ホーム大森東調整計画 (433万1千円) 〇
 □(仮称)児童養育支援センター田園調布の整備 (1億6,737万円) 〇
 □福祉人材の確保・育成・定着 (195万7千円) 〇
 □地域支え合いの推進 (高齢者を中心に多世代に渡る支え合い) (5,612万6千円) 〇

④東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした「おおた」の発展に向けた取り組み【スポーツ、観光、産業】 10億3,775万4千円

《東京2020大会事業》
 □おおたウエルカムボランティア (2,529万4千円) 〇
 □ボランティア団体の事前キャンプ受け入れ (1,102万6千円) 〇
 □東京2020大会気運醸成事業 (1,870万円) 〇
 □東京2020大会開催時間連動事業 (1億4,440万8千円) 〇
 □聖火リレー記念銘板の設置 (550万円) 〇
 □東京2020大会開催準備事業 (420万9千円) 〇
 □ポットチャラ推進、ランニング探検の整備 (ボツチャラ推進) 〇
 □羽田空港を起点としたインバウンド誘致事業 (仮称) ナイトタイムコンテナによる地域にぎわい事業 (1,108万5千円) 〇
 □東京2020大会を契機とした記念館・博物館での企画展 (3,570万8千円) 〇
 □中小学生の東京2020大会競技観戦 (3,495万3千円) 〇



《まちづくり》
 □羽田空港跡地における成長戦略拠点の形成 (9億4,883万6千円) 〇
 □都市計画マスタープランの改定 (1,927万8千円) 〇
 □蒲田駅・大森駅周辺地区の整備 (5億8,655万1千円) 〇
 □空港臨海部まちづくり・交通ネットワーク計画等策定 (4,911万5千円) 〇
 □地上駅改築支援及び池上地区のまちづくり (12億6,574万1千円) 〇
 □新空港線の整備主体設立及び関連事業 (1億9,831万9千円) 〇
 □無電柱化の推進 (5億1,100万9千円) 〇
 □自転車利用促進対策の推進 (1,771万8千円) 〇
 □多摩川河川敷道路復旧整備 (6,105万円) 〇

